

# 2018年3月期 決算補足説明資料

---

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2018年5月9日

<http://www.keikyu.co.jp/>



**KEIKYU**  
京急グループ

- ◆ 各事業が好調に推移したことにより増収
- ◆ 分譲土地におけるたな卸資産評価損の計上などにより減益

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)	直近予想 (11/8)	予想との差異
営業収益	309,829	315,685	5,855 ( 1.9 %)	322,000	△ 6,314 ( △ 2.0 %)
営業利益	37,761	29,474	△ 8,286 ( △ 21.9 %)	32,500	△ 3,025 ( △ 9.3 %)
経常利益	35,393	27,289	△ 8,103 ( △ 22.9 %)	30,000	△ 2,710 ( △ 9.0 %)
特別利益	169,888	1,076	△ 168,811 ( △ 99.4 %)	—	— ( —)
特別損失	167,734	3,571	△ 164,162 ( △ 97.9 %)	—	— ( —)
親会社株主に帰属する 当期純利益	22,514	16,155	△ 6,359 ( △ 28.2 %)	20,000	△ 3,844 ( △ 19.2 %)
設備投資額*	58,394	81,869	23,475 ( 40.2 %)		
減価償却費	29,670	29,525	△ 144 ( △ 0.5 %)		

※ 工事負担金等（2017年3月期：9,038百万円、2018年3月期：5,423百万円）を含んでおります。

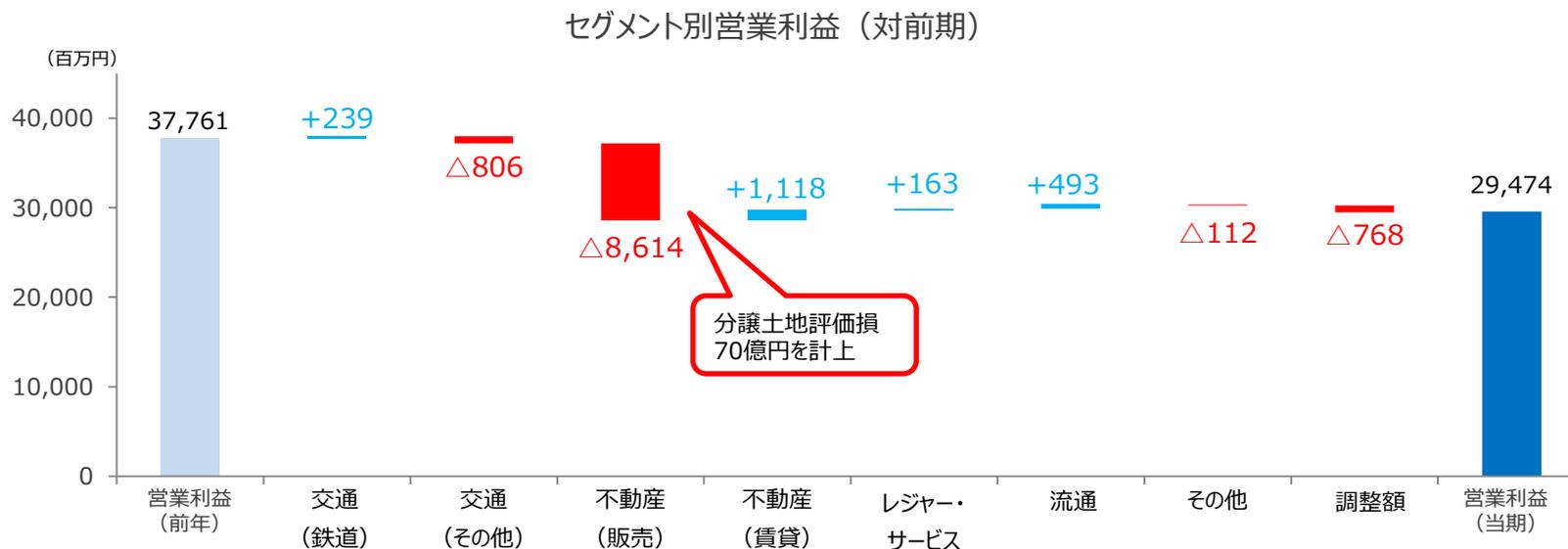
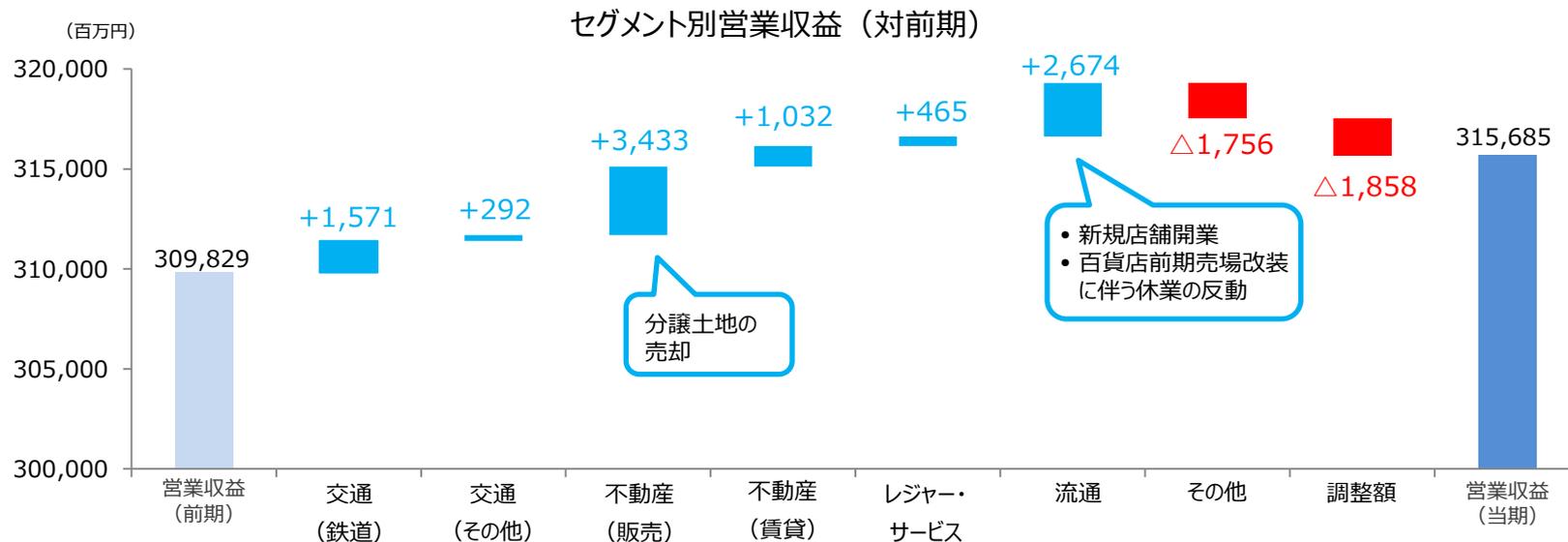
1株当たり 当期純利益*	81.75円	58.66円
-----------------	--------	--------

※ 2017年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

(単位：百万円)

		2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)	直近予想 (11/8)	予想との差異
交通事業	営業収益	121,615	123,479	1,864 ( 1.5 % )	123,200	279 ( 0.2 % )
	営業利益	20,754	20,187	△ 567 ( △ 2.7 % )	19,800	387 ( 2.0 % )
不動産事業	営業収益	42,569	47,035	4,465 ( 10.5 % )	52,500	△ 5,464 ( △ 10.4 % )
	営業利益	5,838	△ 1,657	△ 7,496 ( — )	2,500	△ 4,157 ( — )
レジャー・サービス事業	営業収益	35,129	35,595	465 ( 1.3 % )	35,000	595 ( 1.7 % )
	営業利益	5,451	5,615	163 ( 3.0 % )	5,600	15 ( 0.3 % )
流通事業	営業収益	104,931	107,605	2,674 ( 2.5 % )	107,700	△ 94 ( △ 0.1 % )
	営業利益	2,129	2,622	493 ( 23.2 % )	2,500	122 ( 4.9 % )
その他	営業収益	56,676	54,920	△ 1,756 ( △ 3.1 % )	54,600	320 ( 0.6 % )
	営業利益	3,472	3,360	△ 112 ( △ 3.2 % )	2,800	560 ( 20.0 % )
合計	営業収益	360,922	368,636	7,713 ( 2.1 % )	373,000	△ 4,363 ( △ 1.2 % )
	営業利益	37,646	30,127	△ 7,518 ( △ 20.0 % )	33,200	△ 3,072 ( △ 9.3 % )
調整額	営業収益	△ 51,092	△ 52,950	△ 1,858 ( — )	△ 51,000	△ 1,950 ( — )
	営業利益	115	△ 653	△ 768 ( — )	△ 700	46 ( — )
連結損益計算書 計上額	営業収益	309,829	315,685	5,855 ( 1.9 % )	322,000	△ 6,314 ( △ 2.0 % )
	営業利益	37,761	29,474	△ 8,286 ( △ 21.9 % )	32,500	△ 3,025 ( △ 9.3 % )

# (参考) セグメント別営業収益・営業利益の増減



- ◆ 鉄道事業における輸送人員・旅客運輸収入が過去最高
- ◆ バス事業における減価償却費や燃料費の増加などにより減益

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益		
	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
交通事業計	121,615	123,479	1,864 ( 1.5 %)	20,754	20,187	△ 567 ( △ 2.7 %)
鉄道事業	83,478	85,050	1,571 ( 1.9 %)	17,577	17,816	239 ( 1.4 %)
バス事業	33,575	33,958	382 ( 1.1 %)	3,121	2,326	△ 794 ( △ 25.5 %)
タクシー事業	4,561	4,470	△ 90 ( △ 2.0 %)	55	43	△ 11 ( △ 20.8 %)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
設備投資額※	32,653	33,495	841 ( 2.6 %)
減価償却費	21,138	21,740	601 ( 2.8 %)

※ 工事負担金等 (2017年3月期：9,038百万円、2018年3月期：5,423百万円) を含んでおります。

## <鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

①輸送人員

(単位：千人)

	2017年3月期	2018年3月期	増減 (増減率)
定期	258,518	263,944	5,426 ( 2.1 % )
定期外	209,331	212,912	3,581 ( 1.7 % )
合計	467,849	476,856	9,007 ( 1.9 % )

②旅客運輸収入

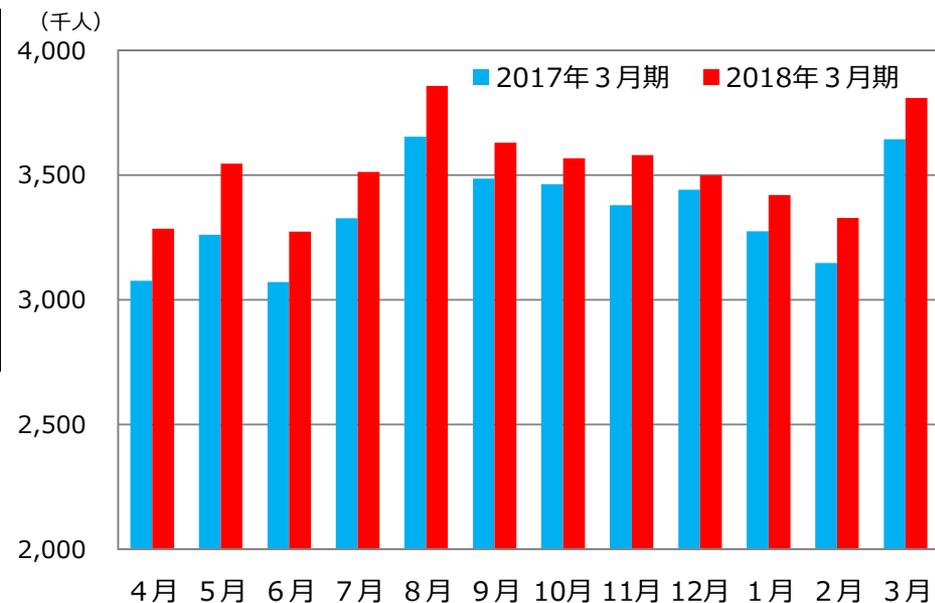
(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減 (増減率)
定期	30,960	31,538	578 ( 1.9 % )
定期外	49,120	50,081	961 ( 2.0 % )
合計	80,080	81,620	1,540 ( 1.9 % )

③羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員 (単位：千人)

	2017年3月期	2018年3月期	増減 (増減率)
定期	6,453	7,000	547 ( 8.5 % )
定期外	33,771	35,305	1,534 ( 4.5 % )
合計	40,224	42,305	2,081 ( 5.2 % )

羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の月別輸送人員推移



- ◆ 分譲土地の売却や新規に取得した賃貸オフィスビル等により増収
- ◆ 分譲土地におけるたな卸資産評価損の計上により減益

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益		
	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
不動産事業計	42,569	47,035	4,465 ( 10.5 %)	5,838	△ 1,657	△ 7,496 ( —)
不動産販売業	24,149	27,582	3,433 ( 14.2 %)	1,583	△ 7,031	△ 8,614 ( —)
不動産賃貸業	18,420	19,453	1,032 ( 5.6 %)	4,255	5,373	1,118 ( 26.3 %)

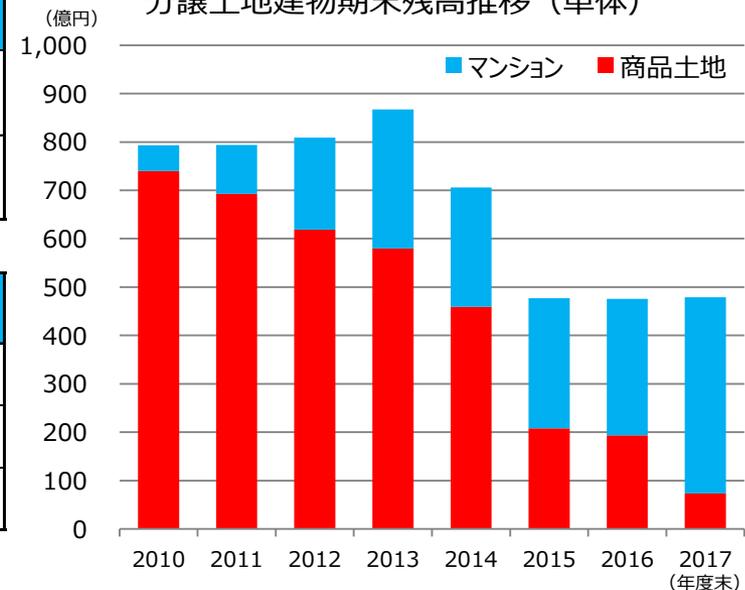
	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
設備投資額	13,006	40,734	27,728 ( 213.2 %)
減価償却費	4,440	4,192	△ 248 ( △ 5.6 %)

マンション・宅地分譲 販売戸数

(単位：戸)

	2017年3月期	2018年3月期	増減
マンション分譲	643	311	△ 332
(持分換算後)	391	199	△ 192
宅地分譲	18	29	11

分譲土地建物期末残高推移（単体）



## ◆ ビジネスホテル業において新館を含め各館が好調に稼働したことなどにより増収増益

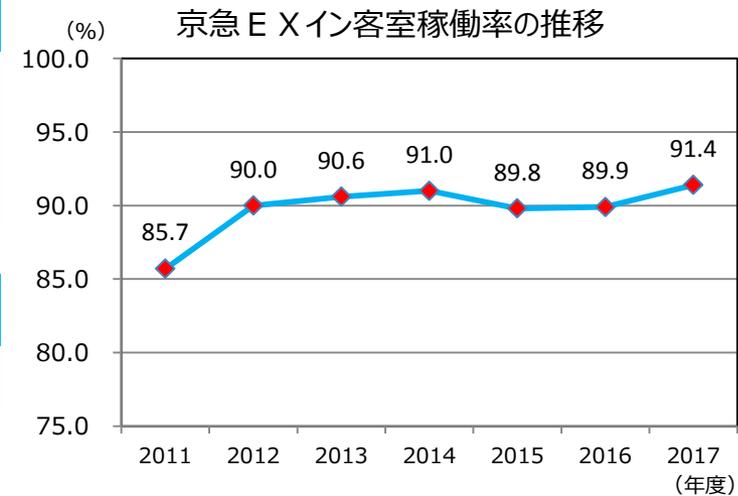
(単位：百万円)

	営業収益			営業利益		
	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
レジャー・サービス事業計	35,129	35,595	465 ( 1.3 %)	5,451	5,615	163 ( 3.0 %)
ビジネスホテル業	8,469	9,628	1,158 ( 13.7 %)	2,132	2,325	192 ( 9.0 %)
レジャー関連施設業	11,941	12,169	228 ( 1.9 %)	1,823	1,797	△ 25 ( △ 1.4 %)
レジャーその他	14,719	13,797	△ 921 ( △ 6.3 %)	1,495	1,492	△ 2 ( △ 0.2 %)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
設備投資額	8,743	5,251	△ 3,492 ( △ 39.9 %)
減価償却費	2,194	2,109	△ 84 ( △ 3.8 %)

### 京急EXイン客室稼働率

	2017年3月期	2018年3月期	増減
客室稼働率	89.9 %	91.4 %	1.5 pt



- ◆ 物品販売業が好調に推移したほか、百貨店業における店舗リニューアルや、ストア業における新規店舗の開業などにより増収増益

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益		
	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
流通事業計	104,931	107,605	2,674 ( 2.5 %)	2,129	2,622	493 ( 23.2 %)
百貨店業	32,796	33,481	684 ( 2.1 %)	28	462	433 ( —)
ストア業	52,806	53,460	654 ( 1.2 %)	502	355	△ 147 ( △ 29.3 %)
物品販売業	15,820	17,127	1,306 ( 8.3 %)	1,067	1,248	181 ( 17.0 %)
流通その他	3,508	3,536	28 ( 0.8 %)	531	556	25 ( 4.8 %)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
設備投資額	3,698	1,889	△ 1,809 ( △ 48.9 %)
減価償却費	1,476	1,143	△ 332 ( △ 22.5 %)

## ◆ 建設工事等の減少により減収減益

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益		
	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
その他計	56,676	54,920	△ 1,756 ( △ 3.1 %)	3,472	3,360	△ 112 ( △ 3.2 %)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額 (増減率)
設備投資額	292	499	206 ( 70.7 %)
減価償却費	420	339	△ 80 ( △ 19.2 %)

## ◆ 賃貸オフィスビルなどの取得により固定資産が増加

(単位：百万円)

	2017年3月期末	2018年3月期末	増減額
流動資産	133,021	129,803	△ 3,218
分譲土地建物	60,799	59,304	△ 1,495
固定資産	693,913	747,402	53,488
有形固定資産	572,561	614,968	42,407
建物及び構築物	304,193	319,078	14,885
土地	148,093	171,236	23,143
資産合計	826,935	877,205	50,270
負債合計	587,295	623,840	36,545
有利子負債残高※	413,477	438,576	25,098
純資産合計	239,639	253,365	13,725
負債純資産合計	826,935	877,205	50,270

※ 社債、借入金の合計額

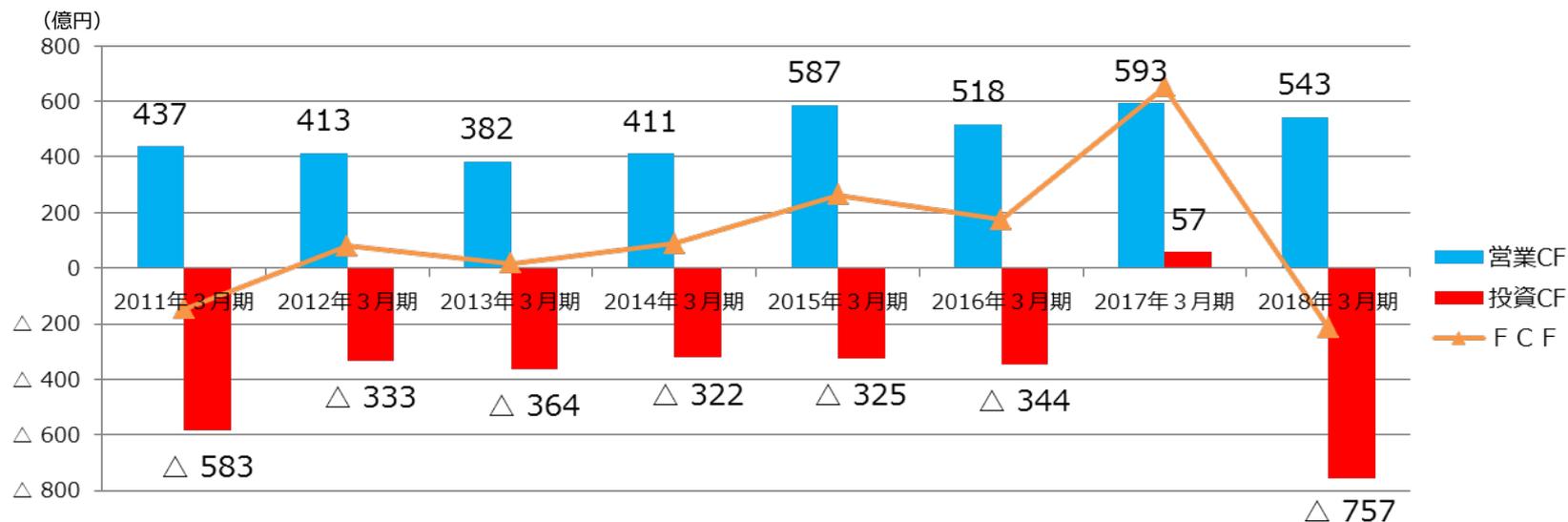
純有利子負債残高	369,275	394,714	25,438
----------	---------	---------	--------

◆ 成長投資を計画より前倒したことによる投資活動によるキャッシュ・フローの資金支出増

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,393	54,388	△ 5,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,799	△ 75,715	△ 81,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 64,882	21,018	85,901
現金及び現金同等物の増減額	310	△ 308	△ 618
現金及び現金同等物の当期末残高	44,020	43,712	△ 308

【参考】フリーキャッシュフロー（営業CF + 投資CF）の推移



- ◆ 不動産事業や交通事業などが堅調に推移し、増収を予想
- ◆ 前期に計上した分譲土地におけるたな卸資産評価損の反動もあり増益を予想

（単位：億円）

	2018年3月期	2019年3月期	増減額 (増減率)
営業収益	3,156	3,370	213 ( 6.8 % )
営業利益	294	360	65 ( 22.1 % )
経常利益	272	325	52 ( 19.1 % )
親会社株主に帰属する 当期純利益	161	220	58 ( 36.2 % )
設備投資額 <sup>※</sup>	818	740	△ 78 ( △ 9.6 % )
減価償却費	295	307	12 ( 4.3 % )

※ 工事負担金等（2018年3月期：54億円、2019年3月期（予想）：96億円）を含んでおります。

1株当たり 当期純利益	58.66円	79.89円
----------------	--------	--------

(単位：億円)

		2018年3月期	2019年3月期	増減額 (増減率)
交通事業	営業収益	1,234	1,241	6 ( 0.5 % )
	営業利益	201	190	△ 11 ( △ 5.9 % )
不動産事業	営業収益	470	666	195 ( 41.6 % )
	営業利益	△ 16	66	82 ( — )
レジャー・サービス事業	営業収益	355	359	3 ( 0.9 % )
	営業利益	56	58	1 ( 3.3 % )
流通事業	営業収益	1,076	1,082	5 ( 0.6 % )
	営業利益	26	25	△ 1 ( △ 4.7 % )
その他	営業収益	549	548	△ 1 ( △ 0.2 % )
	営業利益	33	26	△ 7 ( △ 22.6 % )
合計	営業収益	3,686	3,896	209 ( 5.7 % )
	営業利益	301	365	63 ( 21.2 % )
調整額	営業収益	△ 529	△ 526	3 ( — )
	営業利益	△ 6	△ 5	1 ( — )
連結損益計算書 計上額	営業収益	3,156	3,370	213 ( 6.8 % )
	営業利益	294	360	65 ( 22.1 % )

- ◆ 鉄道事業・バス事業ともに輸送人員の増加により増収
- ◆ 動力費・燃料費等営業費の増加などにより減益

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
交通事業計	1,234	1,241	6	201	190	△ 11
鉄道事業	850	852	1	178	174	△ 3
バス事業	339	342	3	23	15	△ 7
タクシー事業	44	45	1	0	0	0

## <鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

### ①輸送人員

(単位：百万人)

	2018年3月期	2019年3月期	増減 (増減率)
定期	263	265	1 ( 0.6 % )
定期外	212	214	1 ( 0.8 % )
合計	476	480	3 ( 0.7 % )

### ②旅客運輸収入

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期	増減 (増減率)
定期	315	315	0 ( 0.2 % )
定期外	500	505	4 ( 1.0 % )
合計	816	821	5 ( 0.7 % )

### ③羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員

(単位：百万人)

	2018年3月期	2019年3月期	増減 (増減率)
定期	7	7	0 ( 0.0 % )
定期外	35	36	0 ( 2.4 % )
合計	42	43	0 ( 2.0 % )

- ◆ 大規模分譲マンションの売上計上や賃貸オフィスビルの通期稼働などにより増収
- ◆ 賃貸業において一時的な費用計上があるものの、たな卸資産評価損の反動もあり増益

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
不動産事業計	470	666	195	△ 16	66	82
不動産販売業	275	462	186	△ 70	30	100
不動産賃貸業	194	203	9	53	35	△ 18

- ◆ ビジネスホテル業において新館が通期稼働および前期並みの稼働率を見込み増収増益

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
レジャー・サービス事業計	355	359	3	56	58	1
ビジネスホテル業	96	103	7	23	25	2
レジャー関連施設業	121	123	1	17	17	△ 0
レジャーその他	137	132	△ 5	14	14	△ 0

- ◆ 百貨店業において店舗入れ替えや専門店の外部出店などにより増収
- ◆ 流通その他における店舗の耐震補強工事による営業休止などにより減益

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
流通事業計	1,076	1,082	5	26	25	△1
百貨店業	334	346	11	4	6	2
ストア業	534	531	△3	3	3	0
物品販売業	171	170	△0	12	11	△0
流通その他	35	34	△1	5	2	△2

- ◆ 建設工事等の減少により減収減益

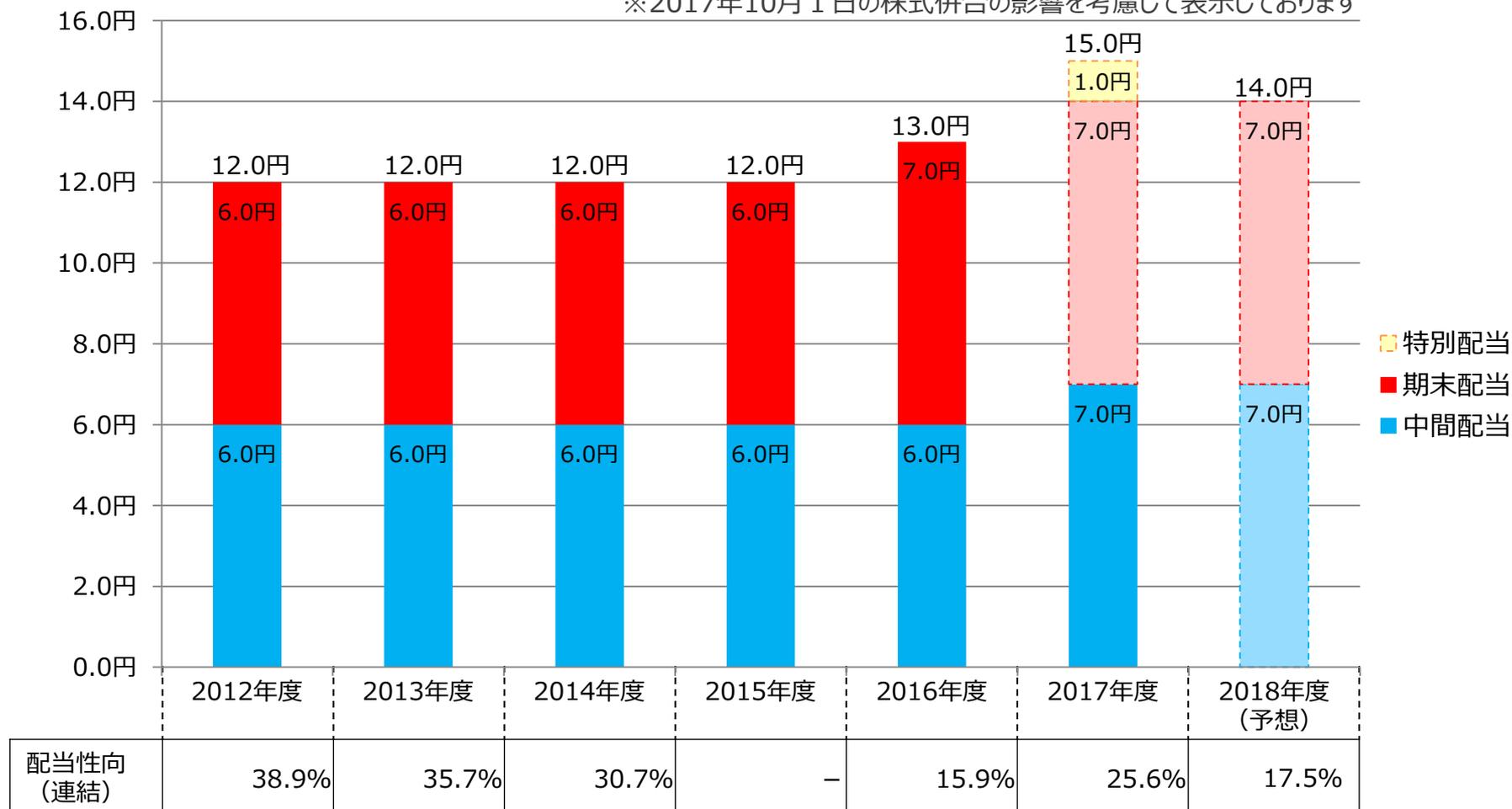
(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	2018年3月期	2019年3月期	増減額
その他計	549	548	△1	33	26	△7

## 配当方針：安定配当の継続を基本とし、業績や財務状況等を勘案して行う。

- ◆ 業績を勘案し、2017年度中間配当は、前年度から1.0円の増配を実施
- ◆ 期末配当は、1.0円の特別配当を実施予定

※2017年10月1日の株式併合の影響を考慮して表示しております



# KEIKYU

京急グループ

【ご注意】

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。